



# 札私幼

《編集》  
札私幼広報委員会

《発行責任者》  
一般社団法人  
札幌市私立幼稚園連合会  
前田元照

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10  
札幌市生涯学習総合センター内  
☎ 671-3590 FAX 671-3591

第161号  
平成30年  
12月19日  
発行

## 第61回北海道私立幼稚園教育研究大会札幌ブロック大会・ 第50回札幌市私立幼稚園教育研究大会が開催

平成30年10月19日(金)20日(土)の2日間にわたり、第61回北海道私立幼稚園教育研究大会札幌ブロック大会・第50回札幌市私立幼稚園教育研究大会が開催されました。札幌市私立幼稚園教育研究大会は、半世紀の節目を飾る記念すべき大会となりました。

今年度からテーマが新しくなり、「子どもたちの今と未来の幸せをねがって」～一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を～と掲げ、沢山の参加者と共に盛大に行われました。

1日目は、各区の会員園から私立幼稚園・認定こども園21園、市立幼稚園2園の計23園の会場で、午前中は公開保育と保育研究が行われ、より良い保育環境を作るための創意工夫や自園とは違う保育の形態を実際に見て学ぶことが出来る貴重な機会となりました。午後からは各公開園の研究テーマに基づき分科会が行われ、それぞれの園で実践研究発表やディスカッション、ワークショップ、講師を招いての講演などが行われ、これからの保育に活かせるヒントを沢山学ばせて頂き、日々の保育を見つめ直す有意義な時間になりました。

2日目は、わくわくホリデーホールに会場を移し、全体会が行われました。セレモニーでは、大会長の前田元照札私幼会長、川島教孝北私幼会長の挨拶に続き、ご来賓である北海道知事 高橋はるみ様、札幌市長 秋元克広様、前衆議院議員 高木宏壽様、札幌市私立幼稚園PTA連合会会長 佐々木和也様よりご祝辞をいただきました。他にも、日々幼児教育にご尽力くださっている札幌市私立幼稚園振興議員連盟の市議会議員の方々にもご臨席をいただきました。

基調講演では、「子どもという自然～子ども観をストレッチしてみる～」と題して、森の案内人／写真家の小西貴士氏よりご講演いただきました。

小西先生は、汐見稔幸氏らと共に八ヶ岳南山麓で「ぐうたら村」という、保育者のための自然と文化の学校を主宰されていて、森や野原で子どもたちと過ごししながら、子どもを含む「命を巡るうまく言葉にな

らないこと」をテーマに写真を撮り続けています。

美しい自然と子どもたちが子どもらしく生き生きと今を生きている姿を写した写真を物語性のある言葉と心が癒される優しい音楽にのせて、沢山見せていただきました。

「私たちは外の世界を85%以上視覚を通して認識していること」「見方を変えると見え方が変わるということ」を学び、「子どもという自然」に向ける私たちの眼差し、子ども観をストレッチしていただきました。

子どもたちの今と未来の幸せを願って、子どもたちや仲間と共に成長出来る保育という仕事の素晴らしさと責任を感じました。

2日間で学ばせて頂いたことをこれからの保育に活かし、より質の高い幼児教育を目指せるよう努力したいと思います。

9月6日に発生した北海道胆振東部地震で被災し、被害を受けた園の皆様にお見舞い申し上げますと共に、教育研究大会へのご理解ご協力、心より感謝申し上げます。

また、今回の大会運営を担って下さった全ての先生方にお礼申し上げます。



## 「さっぽろようちえん・こどもえん・にここフェスティバル」

平成30年8月25日(土)に札幌市立大通高等学校と札幌市立中央幼稚園を会場として「さっぽろようちえん・こどもえん・にここフェスティバル」が開催されました。



未就園児とその保護者を対象に、幼稚園・こども園を幅広く知って頂き、幼稚園選びの参考にしてもらおうと、札幌市幼児教育センターが中心となり、平成21年からこの時期に行っています。

この日は、台風の影響で朝から大雨でどれくらいの親子が来場してくれるか心配でしたが、始まる頃には雨も止み関係者・親子合わせて100名ほどの参加がありました。

ホールには、「ボウリング」「さかなつり」「工作」「運動あそび」などの遊びコーナーを準備しました。初めは緊張気味に入って来た子ども達は、いつしかお母さんの手元から離れ、自分の遊びたいコーナーに走って

行き集中して遊んでいました。先生やお友達と触れ合い、まさに「遊びこむ」姿でした。中央幼稚園では「おままごと」「絵本コーナー」などもあり、ごっこ遊びを楽しんでいた子ども達でした。

その他にも、北翔大学の学生ボランティアが子ども達と一緒に踊りを踊ってくれ、子どもだけではなく、保護者の方も一緒に踊りに誘って、楽しい雰囲気をつくってくれました。

保護者向けには、個別に就学前の悩みや、子どもの発達の相談が出来るブースを設けたり、澄川幼稚園の米永桃子園長が、スライドを使い幼稚園の行事と1日の流れを分かりやすく紹介した後、幼児教育センターの松井泰子主事と保護者からの質問に答える時間もありました。親子共に幼稚園・こども園の楽しさを知ってもらえた1日になりました。



## 平成30年度 就職フェア ミライノトビラ2018

今年で5回目を迎える札幌市私立幼稚園連合会主催の就職フェア「ミライノトビラ2018」が、9月30日(日)午後、ホテル札幌ガーデンパレスにて開催されました。今回は、場内のブースに44法人68園が参加、求人票掲示のみの園も合わせると51法人78園が参加されました。また、各養成校14校よりご来場いただいた学生さんの数は総勢173名に上りました。ご参加およびアンケートへのご回答、誠にありがとうございました。

設営時間は限られていたのですが、参加園の皆さんはブースに色とりどりの装飾や資料を工夫されていて、色鮮やかで賑やかな雰囲気でオープンすることができました。

開場時には20名ほどの学生さんが集まっており、前田元照会長からのメッセージをしっかりとした表情で受け止めていました。その後、受付票を記入し、各ブースに向かっていきました。

今回から、ブースの位置を区ごとのエリアに分けず、抽選による割り当てとさせて頂きました(抽選は事前の説明会で実施)。そのため、会場内のどこに目的のブースがあるかを分かりやすくする必要があり、大判のフロアマップやQRコードでブース位置を確認できる仕組みを用意しました。一方で、ブースに番号や区表示がなかったため、探すのが大変だったという感想を頂きました。

パネル展示では会場入口付近のロビーに求人票やQ&Aなどを貼り出し、各園の求人内容や幼稚園・認定こども園の1日の流れなどを気軽に知ってもらえるように準備しました。窓際にソファ席があったためか、その周辺でブースや求人票の情報交換をしている学生さんの姿が見られましたので、次回はそういった時間を利用してパネルを見てもらえるように配置を検討したいと思います。

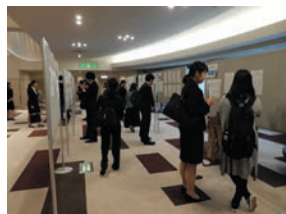
また、一部のブースで電源コンセントが使用できなくなるトラブルがありました。機器の交換・確認など

も含め多大なご迷惑をおかけしてしまい、誠に申し訳ございませんでした。予備の延長コードを持ち合わせていた園さんのご厚意で、応急処置ができました。応援いただき誠にありがとうございました。

事前の説明会を含め、ご参加頂いた会員園の皆様、広報委員と共に揃いのTシャツ姿でお手伝い頂いた振興委員の皆様、大変お疲れ様でした。

来年の就職フェアは2019年9月16日(月・祝)に開催されます。場所は今回と同じ、ホテル札幌ガーデンパレス2F(鳳凰の間)です。ご回答頂いたアンケートを精査し、今回の反省を踏まえ、学生さんにとっても参加園にとっても、より効果的な就職フェアを目指していきたいと思っておりますので、引き続きたくさんのご参加をお待ちしています!

なお、参加園アンケートによれば、学生さんの園見学につながった園は51%、採用につながりそうな学生がいた園は72%、そして来場者アンケートによれば「必要な情報を入手できた」人は95%でした。今回ご参加いただけなかった会員園さんも、是非ご検討頂ければ嬉しく思います。



# 平成30年度札私幼就職フェア会員園向けアンケート結果

## 【就職フェアに参加した園】

★回答数 → 47園

### 問1. どのような形で就職フェアに参加しましたか？

- ※ブース参加のみ（9園） ※求人票のみ（3園）
- ※ブース・求人票どちらも（35園）

### 問2. 今回は何回目の参加ですか？

- ※初めて（8園） ※2回目（11園） ※3回目（8園） ※4回目（5園）
- ※5回目（15園）

### 問3. ブースには何人の学生が来ましたか？

- ※一番多く来た園（41人）／※一番少なかった園（5人）

### 問4. 就職フェアへの参加は、教師採用にとってメリットがありましたか？

- ※学生が園に見学に来た（24園）
- ※採用につながりそうな学生がいた（34園）
- ※次年度に採用がない（1園）
- ※その他
  - ・フェアに参加する養成校に片寄りがみられた。
  - ・最終学年以外の学生の方も参加していて興味を持ってもらえたと思います。
  - ・園名や所在地を知ってもらえたこと。
  - ・学生の方々が就職を考える時に何を心配しているのかを知ることが出来ました。
  - ・園のことはアピール出来ましたが採用につながりそうかは分かりませんでした。
  - ・本学園を知らない学生さんが知る機会になり、興味を持ってくれたので良かった。
  - ・今年はブースに来て話を聞いていただける学生さんがとても少なく残念でした。

### 問5. 次年度の採用がないのに参加した理由を教えてください。

- ※自園を知ってもらうため（現時点では求人予定が確定でないため）

### 問6. 就職フェアに参加して感じたこと

#### ① 良い点

- ・学生の生の声を聞き、学生の知りたいこと等が分かる。
- ・毎年、園にとっても学生にとっても良くするために、どうしたら良いかを考えて下さり、お互いに参加しやすくなっていると思います。
- ・園の様子や保育内容を直接伝えることが出来たこと。
- ・掲示用のボードが横長の物で使いやすかった。
- ・隣のブースとの間隔が空いていて良かった。
- ・一同に会する事で、参加者は比較検討出来ること。
- ・今年は就職学年ではない学生の参加があり、今年だけではなくその先の年度に向けて自園のアピールが出来たことや学生と繋がりを持てたこと。
- ・ブースの場所を抽選にしたのは良かったと思います。
- ・自園にとどのくらい興味を持ってきている学生さんがいるのかが分かって良い。
- ・学生と直接話をすることが出来るので、園のことを理解してもらえらる機会となる。
- ・園のことを詳しく知っていただけ、採用にもつながる貴重な場である。
- ・入口に求人票と会場図が貼っていたので分かりやすく良かったと思います。
- ・他園のブース準備や掲示物の内容、先生方の雰囲気などを見て大変参考になり、良い刺激をいただきました。

#### ② 改善点

- ・どの園のブースにも平等に学生が来ると、たくさん話が出来るのでは？と思いました。
- ・荷物置き場があると良かったです。足元や掲示用ボードの下に置くこと見栄えが…。
- ・アンケートの回収箱を奥に置くなど、奥のブースにも学生が行くよう配慮してほしい。
- ・養成校への働きかけがもう少し必要なのではないか。
- ・もっと開催時間を短くしても良いのでは？
- ・短時間で園のことを伝えるのは難しい。
- ・養成校によって参加者のバラつきがあること。
- ・区や地域ごとにブースをまとめてみたら学生にとっては分かりやすいのではないかと？
- ・ブースの位置により集客に明らかな差が出てます。うちは通路が狭く、それが支障となりました。完全な袋小路状態でした。
- ・ブースに来てくれる学生の中には何をしに来ているのか、よく分からない学生も居たので、もう少し目的意識等を理解して参加してもらえ

るよう周知することも大切だと思います。

- ・ブースの場所が常に同じ場所なので何とかしてほしい。
- ・ブースの参加数にもよりますが、どの園も見やすく行きやすいように【コの字】にするなどレイアウトも工夫出来ると良い。
- ・隣のブースの上司の方々が、ずっとこちらのブースの辺りに立ち私達の話も聞いていたので落ち着きませんでした。「自分達のエリア内で」を全体に周知してほしい。
- ・もう少し人数が集まると良いですね。
- ・後半に来る学生さんの中に、受付票を新たに取りに行く方が数名いたので各園のブースにも受付票の予備を置いておくことが出来ると良いのでは…と感じました。

### 問7. 開催時期など就職フェア全体を通してご意見がありましたら自由にご記入下さい。

- ※土曜日開催にしてほしい。
- ※平日の午後とかに就職フェアを開催し、養成校から出来る限り学生さんに出席してもらおう。
- ※集客だけを考えると何かイベント的な事とコラボして、それが終わってからブースへ移動と言う形は難しいですかね…。
- ※平日の夜間開催も忙しい学生には良いと思います。幼稚園見学ツアーや区別の就職フェアを実施するなどもありかと思えます。
- ※学生・養成校・幼稚園で就職協定を結ぶなど根本的に見直すとうい。
- ※開始時間を12時30分としてますが何か理由があるのですか？13時だと準備が楽。
- ※参加者が事前に参加園と求人情報をWeb等で確認出来ると良いと思う。時間のロスもなくなると思います。
- ※受付時間とスタート時間の間があまりすぎて、スタート前から各ブースを回っていたため5分くらいの間で良いのでは？
- ※今回は1年生が来場し、実習園を決める参考にしたいと言っていました。就職に限らず学生側も色々このフェアを活用しているのだと思いました。
- ※就職の時期が早まって来ていることを考えると、このフェアの開催時期も早い方がいいような気がします。（5月～6月）
- ※就職に特化して開催すべきなのか、もっと広く幼稚園・認定こども園をPRする場として開催すべきなのか難しいですね。
- ※受付票に簡単に良いので、どんなことを質問したいか書かれていて学生と話すきっかけになるように思いました。チェック方式で・園行事について 保育後の仕事について
- ※時期は現状で、卒業学年以外の集客が出来ると長期にわたり人材育成や確保が出来ると思います。

## 【就職フェアに参加しなかった園】

★回答数 → 36園

### 問1. 就職フェアに参加しなかった理由

- ※日程が合わなかった（20園） ※次年度の採用予定がない（12園）
- ※必要性・メリットがない（3園） ※対応する職員がいない（5園）
- ※その他
  - ・次年度の採用に目途がつかさうだから。
  - ・求人票を含め、準備に間に合いそうもなかった。
  - ・法人で一括して試験・採用のため。
  - ・前日が入園説明会だったため。
  - ・採用試験との関係で日程が合わなかった。1週間くらい早いスケジュールで就職フェアを開催してほしい。
  - ・札幌市外の園が9園あり、統一して参加の形をとるには時間的余裕がありません。

### 問2. 開催時期や場所、就職フェアに関するご意見がありましたら、自由にご記入下さい。

- ※来年度こそは、ぜひ参加させていただきたいと思いますので宜しくお願い致します。
- ※次回、採用の予定がありましたら参加したいと思います。
- ※時期・場所は良かったと思います。
- ※開催時期をもう少し早くした方が良いのではないのでしょうか？
- ※賃金や福利厚生面など、他園と比べられて園の保育の特徴が霞んでしまうのが心配。
- ※特にございませんが、見学だけでも行ってみたいと思いました。
- ※関心はあるので日程が合えば今後は参加したいと思っています。
- ※会場等の関係で仕方なかったと思いますが、教会幼稚園のため日曜日はバザーと重なり参加出来ませんでした。この就職フェアは幼稚園の職員にとっても、他園を知るとも良い機会となりますので是非来年、日程が重ならないことを願っております。
- ※スマホで見ることが出来る、HP（ホームページ）上の就職フェア開催希望です!!

## 政令指定都市私立幼稚園団体協議会 第17回次世代研修会 神戸大会報告

平成30年8月23日(木)・24日(金)の2日間、神戸で政令指定都市私立幼稚園団体協議会 第17回次世代研修会が行われ、全国各地から若手を中心に85名が参加しました。

1日目は、開会式の後、講師に一般社団法人実践人の家理事の杉本哲也氏を迎え、「リーダーの役割」をテーマに、「組織の存在意義」や「リーダーに必要な資質」、「人材確保と人材育成のポイント」等についてお話をして頂きました。杉本先生は京都大学大学院工学研究科を修了後、味の素勤務、松下政経塾、衆議院議員政策担当秘書等の経験がある先生で、様々な経験からお話される内容は、とても分かりやすく、かつ、受講者の興味・関心を引き付けるものでした。

特に、人材確保・育成の話では、今はどの業界でも人材難であり、領収証をもらう時に「上で」というと「ウエディ様」となり、「品代で」というと「死なないで」と書かれるというお話には衝撃を受けました。また、「任せて任さず」という松下幸之助氏の言葉(現場のことはメンバーに任せるが、方向性は経営者が示す)、採用面接に関して、親との関係が良くない人は、社会人としての基礎が身につけていない場合が多いというお話は参考になりました。

講演のあとは、引き続き杉本先生のもと、グループに分かれてワークショップを行いました。グループ内で、「マネージャー」、「リーダー」、「スタッフ」の3つの役割に分かれ、それぞれに配られる指示書に書かれた課題をクリアしていくというものです。コミュニケーションはメモ用紙でのやり取りに限定され、かつ、スタッフはリーダーのみ、マネージャーもリーダーのみとコミュニケーション相手も限定されている中で、どのグループもとても苦労しながら取り組みました。

このワークショップを通じて、マネージャーが、リーダーやスタッフに、組織の「理念」や「目的」を具体的に、そして明確に伝えることが、また、リーダーやスタッフもマネージャーにそれを確認することがいかに大切かということを実感しました。

2日目は、神戸市青少年科学館で「体感型防災アト

ラクション」に参加しました。「体感型防災アトラクション」とは、これまでの防災研修の課題(「参加者の高齢化」、「形骸化した避難訓練」、「参加率の向上」等)を解決するために、株式会社フラップゼロさんがエンターテインメントの分野で培ってこられた、映像・音響演出、そして若手に人気の「脱出ゲーム」の制作運営によるノウハウを「教育研修」と融合させたもので、設営に2時間、撤収に1時間もかかる大がかりなものです。参加者はいくつかのグループに分かれ、グループのメンバーが互いに協力して、いくつかのミッションをクリアすることで脱出できるようになっています。もちろん防災研修なので、それぞれのミッションを楽しくクリアしていきながら、防災についての知識も学べるようになっています。

事前のオリエンテーションでは、災害に際しては、大きく「自助」、「共助」、「公助」があり、災害で助かった人の9割が「自助」と「共助」であったとのお話をして頂きました。実際にアトラクションを体験してみて、日頃から自分の身は自分で守る用意をしておくこと(自助)、有事の際は、周りの人と助け合うこと(共助)、特に近所の人との助け合い(近助)が大切だということを感じました。この「体感型防災アトラクション」は、全国の行政・学校関係等でも実施されているということでしたので、今後、近隣で実施される場合はぜひ参加してみたいと思います。

最後になりましたが、今回このような貴重な機会を頂いたことに感謝致します。ありがとうございました。(森の幼稚園・古川 多三和)



## 第2回「札幌幼児教育セミナー」108名の先生方が参加



札幌市私立幼稚園連合会主催の第2回札幌幼児教育セミナーが、11月9日(金)に札幌エルプラザにて行われました。今回は免許状更新講習も兼ねており、多くの先生方が参加する大盛況の研修会となりました。講師として、東京家政大学子ども学部子ども支援学科教授の加藤繁美先生をお招きし「心の育ちと対話する保育」というテーマで講演していただきました。

加藤先生からたくさんの子どものつぶやきの紹介があり、それに対する加藤先生のコメントに笑いが出たりと終始和やかな雰囲気の中、子どもと対話することは言葉を必要とせず分かり合おうとする気持ちを大切にすること、また保育者の専門性を構成する要素には①概念的知性(保育理論)と②直感的応答力

(子どもの思いに共感する力)の二つがあり、子どもの要求に応える保育者になるためには②の直感的応答力を身に付けていくこと、それが日々の保育実践になることを教えていただきました。また、2歳の育ちについてもお話があり、2歳は3歳と比べてただ1歳違うのではなくまったく別物であること、発達の勉強をしっかりとしなければ私達の無知が子どもとのズレを生んでしまうと聞き、これから2歳児保育をする園とすで行っている園両方にとって改めて2歳児保育について考えるきっかけになったのではないかと思います。最後に「子どもは子どもの世界を生き、子どもは生きることをさぼらない」という加藤先生の素敵な言葉が心に残りました。



## 平成31年度・予算要望活動

札私幼執行部は、各区の理事の皆様を通じ会員園からのご意見を伺い、取りまとめ整理した来年度の予算要望内容を【平成31年度の予算に対する要望書】として、11月29日(木)に札幌市私立幼稚園振興議員連盟の市議会議員の皆様同席のもと、前田会長はじめ札私幼総務委員、札私幼P連の会長・副会長が出席し、札幌市役所にて予算要望を行いました。前田会長から岸副市長へ、佐々木P連会長から長谷川教育長へ、要望書を手渡ししたのち藪副会長から要望趣旨を説明させていただきました。新制度に係る事項を始め、特別支援事業では一園当たりの基準額の単価を、専門職として

相応しい時給の設定になるよう増額を要望。

札幌市の推し進める幼保連携型認定こども園に移行を検討する場合、2歳児の受入れ等を行う場合、保育教諭の増員なども含め、年々人材確保の面が大きな課題となっていることなども踏まえての要望内容です。P連からはスタートストロング運動(SS運動)の理念を継承し、今後も親が安心して子どもを生み育てられる社会の実現を要望致しました。

詳細については今現在も折衝中でございます。結果につきまして詳しい事は、改めてお知らせ致します。

### 予算要望書

#### 札私幼

- ① 特別支援教育事業
- ② 教材教具補助事業
- ③ 新制度に係る事項
- ④ 研修費等助成事業(団体補助)
- ⑤ 人材確保事業(幼稚園教諭・保育教諭)

#### 札私幼PTA連合会

- ① 保護者の立場に立った幼児教育無償化の制度設計  
※私学助成園の保育料  
※一時預かり事業の利用
- ② PTA団体助成金



## 平成30年度 幼稚園教諭養成校・札幌市私立幼稚園連合会 懇談会

札幌市内の幼稚園教諭養成校と札私幼の懇談会を今年度も12月11日(火)ホテル札幌ガーデンパレスを会場として、養成校16校24名・札私幼19名(理事・監事)が出席して開催致しました。

札私幼 前田元照会長・光塩学園女子短期大学 南部正人教授のご挨拶のあと・米永広報委員長より今年度の札私幼就職フェアの報告があり、今年度の懇談会がスタートしました。

懇談会は7つのグループに分かれ、【教育実習】と【就職】2つのテーマを基盤に意見交換を行いました。実習・就職どちらも具体的に話の内容を掘り下げ、翌年につなげられるような話合いの時間となりました。また、今の学生の意識や何に重点を置いて就職を考えているのかなどを聞かせていただいたり時間が足りないと感じるほど活発な情報交換の場となりました。

今後、この会をより良く発展させ、何か形として残してゆくためにも年2回開催を視野に入れても良いのではないかなという意見も出ておりました。人材確保が

難しさを増してゆく中で、養成校側も学生確保に困難をきたしている状況もあり、この仕事の良さ・やりがいなどをどのように周知するかも大きな課題の一つではないかと感じました。

### 【養成校懇談会出席校】

藤女子大学  
北海道文教大学  
札幌国際大学  
北翔大学  
札幌大谷大学短期大学部  
光塩学園女子短期大学  
札幌国際大学短期大学部  
北翔大学短期大学部  
せいとく介護こども福祉専門学校  
経専北海道保育専門学校  
専門学校北海道福祉大学校  
札幌医療秘書福祉専門学校  
札幌こども専門学校  
札幌スポーツ&メディカル専門学校  
美芸学園幼児教育専門学校  
北海道ハイテクノロジー専門学校

## 札幌市幼稚園初任者段階における研修 2018. 7. 25(水)~7. 27(金)

これまで過去20年以上にわたり、滝野青少年山の家で新採研宿泊研修を行ってまいりました。しかし時代が変れば人も変わり、社会も変化をしている中で、新規採用教員に求められる資質や能力も明らかに変わってきております。幼児教育センターと札私幼研究委員会において改めて新規採用研修の意義や研修の効率化などを検討し、年10日間全ての日程と内容を見直しました。その結果、今年度より夏の宿泊研修を廃止し、より効率的に近年の保育者に求められる専門性の基礎を学べるようなプログラムに変更を致しました。

### 1日目!!

初日は緊張する様子が見られましたが、5月に一度この研修の主旨を聞いているせい【学ぶ】を意識して参加していたように感じました。講師紹介から始まり【就学前の子どもに関する教育・保育の現状と課題】【先輩から学ぶ】それぞれをパネルディスカッション形式で【1学期の振り返りと今後の展望】を協議して午前は終了。午後からは【グループ協議】各グループに講師が入り助言しながらの学びとなりました。テーマは3つ。自分の課題・良さや成長・社会人として自分の思いを付箋に書き出し、互いの悩みを共有して2学期に向け前向きになれるようにする。時間をかなり使った協議となりグループ発表（ワールドカフェ）まではたどり着けませんでした学び多い初日でした。



### 3日間 密着取材!

### 2日目!!

午前中は、ビデオカンファレンスを行いました。子どもの姿からどのような学びがあったかをワークシートを使い話し合いました。自分の気づきだけではなく、色々な考えを肌で感じたり、仲間と共感したりする中で、子ども理解を更に深め、援助について考える良い場となりました。

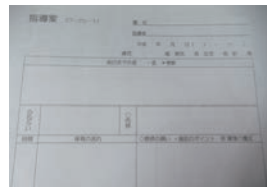
午後からは「身体を動かす遊び」ということで札幌国際大学短期大学部 岡部先生から理論的な話も含め、実際に体育館で3つのチームに分かれ年齢にあった遊びを行いました。むっくりくまさんや、さかさ鬼等の鬼ごっこから、風船に新聞をまいて作ったアレンジボールを使った遊び等を先生たちは汗をかきながら楽しんで行っていました。



### 3日目!!

最終日は身体を動かすあそびを基にした指導案作りについての研修でした。まずは、どうして指導案が必要なのか、また指導案の項立てについて講義を聞いた後、昨日行った身体を動かす遊びからやってみたいものを選びそこから着想を得て、改善・発展させた指導案を40分で書きました。

6人グループになり、出来た指導案を回して見ながら、「良かったところ」「もっとこうするといい」と思う援助を付箋に書いていき話し合いました。3日目ということで、緊張もほぐれたのか、積極的に意見を出して話し合い盛り上がっていました。「2学期からの保育に生かしたい!」という声が上がっていました。



指導案の  
用紙

まだ今年度全てのプログラムが終わったわけではありませんが、5月のオリエンテーションと社会人としての講義に始まり、6月の保育参観研修、そしてこの夏の3日間研修を無事に終えることができました。大きなトラブルもなく、改めて設定した研修のねらいを概ねクリアできているのではないかと考えておりますが、各園において受講教員と研修の振り返りをしっかりして頂き、本研修の効果を評価し、研究委員会にご意見を下さればと思います。また、多忙な業務の中で貴重な人員を割いて送り出して下さった各園の皆様にご心より感謝申し上げます。

## だいすき

第2回

## マッキーの文房具

便利

KOKUYO

テープカッター

カルカット (クリックタイプ)

マスキングテープはプームから、保育でも大活躍のアイテムだと思います。大量に切っておきたい時、切り口を綺麗にしたいとき…ハサミで切るのも面倒…そんな時に便利なのが、「カルカット クリップタイプ」！！

クリップ式でどんな厚さのテープにもぴったりと挟み込む機構。そして、ギザギザの断面にならず、綺麗な切り口！

テープ幅に合わせて2サイズから選べます。色も、ライトブルー・ライトピンク・ホワイトの3色展開されています！！



↑切り口はこんな感じです！！

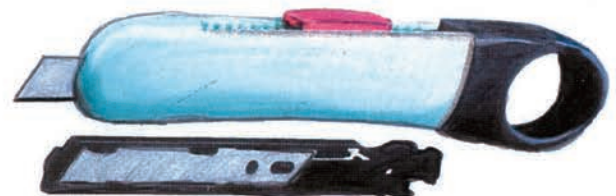
切る

PLUS 折らないカッター  
ORANTE (オランテ)

カッターも製作には欠かせない文房具！！刃を折るのが怖くて苦手という方は、私の他にもいらっしゃるのではないのでしょうか？折った刃で怪我をしても困りますし、保育室に刃を落としても大変なので気を遣いますね。こちらのオランテは折らずに使えるカッターです！

「長持ち加工刃」のポイントは①凹凸表面加工 & 全面フッ素コートでべたつきを防止、②サビに強いステンレス素材、③0.5mmの刃厚で丈夫の3点です。

「あんぜん替刃」やチャイルドロックも搭載されており、安全に使える工夫がされています！！



「文房具が好き」といっても、どのようなジャンルが好きか、どこに魅力を感じるかは、人それぞれ違うと思います。中には使えればこだわりのないという方もいますが、文房具の中の「小さな知恵」を感じた時の驚き、嬉しさが私にとっては最大の「萌え」ポイントです！

ペンが1本変わるだけで気分が変わり、仕事の気分や速さも変わって来ることはありませんか？

今回も私が「萌え」を感じた文房具を紹介します！！



引く

ZEBRA JUSTFIT MojiniLine



蛍光ペンを使っていて、線を引いたところがにじんってしまった事はありませんか？

メモやペン先が汚れてがっかり…なんてことも。この「ジャストフィット モジニライン」はイオンの力で水性ボールペンインクをにじみにくしてくれまます！！ペン先には柔らかい素材のナイロンを使用し、しなって紙面にフィットします。均一な力で引くことができます。

インクの色は、ピンク、オレンジ、黄、緑、青の5種類です！！

ぶんぼうぐ

ペンで書きすぐにマーカーを引いても滲みません！！

## 平成30年度・秋の叙勲【瑞宝双光章】授与

札私幼の会長もお務めになられた【札幌学園理事長・真駒内幼稚園園長 石原 康之先生】がこの度、永きにわたり幼児教育に貢献・尽くされたご功績に対して【平成30年度・秋の叙勲瑞宝双光章】が授与されました。

改めて、おめでとうございます。



## 連 合 会 日 誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き  
(予定を含む)

- |   |  |
|---|--|
| 8月20日(月) 広報委員会  | 11月29日(木) 札幌市への予算要望書手交式(市長会議室)               |
| 8月23日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会次世代研修会神戸大会                   | 12月3日(月) 研究委員会                               |
| 8月25日(土) さっぽろ・ようちえん・こどもえん・にこにこフェスティバル(市立札幌大通高校・中央幼稚園) | 12月5日(水) 広報委員会                               |
| 8月28日(火) 第1回リーダー“力”スキルアップ講座(かでの2・7)                   | 12月11日(火) 総務委員会・理事会・養成校懇談会(札幌ガーデンパレス)        |
| 9月4日(火) 振興委員会   | 12月17日(月) 特別支援教育研修会「講演」(かでの2・7)              |
| 9月10日(月) 総務委員会・理事会                                    | 1月11日(金) 初任段階における研修「理論・実践研修3(2年次)」(市立札幌大通高校) |
| 9月18日(火) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会東京理事会(東京都)                   | 1月15日(火) 初任段階における研修「理論・実践研修2」(ちえりあ)          |
| 9月19日(水) 研究委員会  | 1月21日(月) 総務委員会・理事会・永年勤続表彰・新年交礼会(札幌ガーデンパレス)   |
| 9月20日(木) 広報委員会  | 1月28日(月) 振興委員会                               |
| 9月20日(木) 就職フェア説明会                                     | 2月4日(月) 研究委員会                                |
| 9月28日(金) 第2回リーダー“力”スキルアップ講座(札幌市民ホール)                  | 2月7日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会千葉協議会                |
| 9月30日(日) 就職フェア(札幌ガーデンパレス)                             | 2月8日(金) 議会                                   |
| 10月17日(水) 総務委員会・理事会                                   | 2月18日(月) 総務委員会・理事会・代表者会議・臨時総会(札幌ガーデンパレス)     |
| 10月19日(金) 教育研究大会 公開保育研修・分科会(市内23園)                    | 2月28日(木) 乳幼児保育研修会(エルプラザ)                     |
| 10月20日(土) 教育研究大会 全体会(札幌市民ホール)                         |  |
| 10月23日(火) 振興委員会                                       | [平成31年度の主な予定]                                |
| 11月6日(火) 広報委員会  | 5月17日(金) 総務委員会・理事会・代表者会議・定期総会(札幌ガーデンパレス)     |
| 11月6日(火) 特別支援教育研修会「授業見学・交流研修」(各区小学校)                  | 7月上旬 P連ふれあい交流会                               |
| 11月9日(金) 第2回札幌幼児教育セミナー(エルプラザ)                         | 7月11日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会名古屋大会               |
| 11月9日(金) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会運営委員会(千葉市)                   | 9月16日(月・祝) 就職フェア(札幌ガーデンパレス)                  |
| 11月12日(月) 認定子ども園委員会                                   | 9月27日(金) 教育研究大会 公開保育研修・分科会                   |
|   | 9月28日(土) 教育研究大会 全体会(札幌市民ホール)                 |
|   | 10月4日(金) P連50周年記念行事(札幌市民ホール)                 |



気づけばあっという間に師走を迎えました。

来年5月に元号が変わろうとしている中、「平成最後の〇〇」という言葉をよく聞くようになり、皆さんはどんな「平成」を過ごされたでしょうか。

今年は、道民にとって忘れることが出来ない北海道胆振東部地震が9月に発生、北海道では最大震度7を観測し、ブラックアウト現象に見舞われました。誰もが記憶に新しく残っていることでしょう。その、記憶は時間と共に記録に頼ることが多くなります。

記憶という言葉調べてみると、「過去の経験を頭の中に残しておき、ときに応じてそれらを思い起こそうとする過程」とあり、記録とは、「事実の通り何年も残していくもの」とありました。平成元年に幼稚園の先生になった私。過去の経験を思い起こすのには、やや時間がかかる年月が流れていました。今まで関わってきた子ども達とのエピソードを思いだすと、色々な事があったなと懐かしく思います。ちょっとり美化して残る記憶もまたいいのかもしれませんが。子ども達の記憶にはどんな先生で残っているのかな。そんな事を思いながら、無限の可能性を持つ子どもの成長を記憶にも記録にも残していきたいと感じています。

「平成最後の年末」皆さん良いお年をお迎え下さい。

(広報委員・曾我部 幸利子)

